

360度見渡せる眺望「食」も個性的

ゆるり湘南

湘南平(平塚市)

大磯町の海岸から1・5キロほど。標高約180メートルの湘南平(平塚市万田)山頂の展望台からは、相模湾や湘南海岸沿いの街並みのほか、晴れた日は富士山まで360度見渡せる。

展望台手前の道路沿いの一軒家は、1階がホットケーキパーラー「湘南リトルツリー」。黄色いのぼりの「昔ながらのサクふわホットケーキ」の文字が目立つ。2階は、障害者が作った手工芸品を販売する福祉ショップとなっている。

店を切り盛りするのは大矢野範義さん(33)、亜裕美さん(33)夫妻。ともにデザイナーで、商品ラベルなどの仕事で平塚市内の会社社

長と知り合ったことが、店を任せられるきっかけになった。

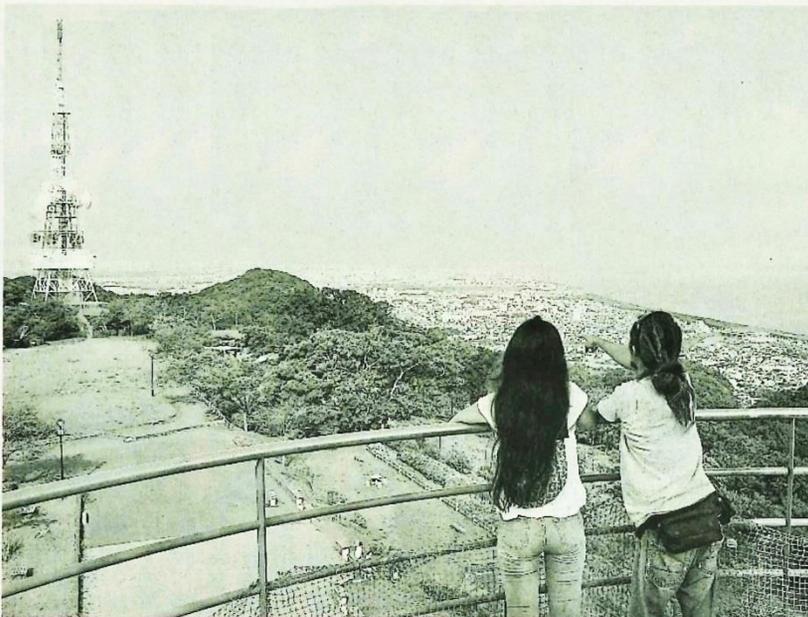
社長は4年前まで都内でホットケーキ店を経営していた。調理人の事情でやむなく閉めた店の再開を、平塚で目指していた。「店をやってみないか」。熱意に共感し、範義さんは都内の人気店で2017年から修業。昨年3月、湘南リトル

店の看板メニューは、ツリーがオープンした。間接的だが範義さんが受け継ぐのは、かつて東京・神田にあった老舗パーラーのホットケーキの焼き方。その老舗出身の職人から、修業先で調理法を教わったという。銅板で焼いたホットケーキは、外側がサクッと、中はふわっとしている。

「むかしの味」セット(税込950円)。ホットケーキに塩味がきいたベーコンを添え、コーヒーはおかわり自由。食通として知られる作家の池波正太郎が、「たのしみの一つだ」とエッセイで書いた食べ方を再現したという。

ホットケーキは通常サイズ2枚の単品(同600円)のほか、テイクアウトができるメニューもある。「湘南平は四季を感じられる場所。その魅力アップに少しでも貢献できたら」。そう話す2人は、笑顔で観光客らを出迎えている。

店から山頂に向かうと、市の展望施設が見えてくる。2階にはレストラン「Flat(フラット)」。15年4月にオープンし、コンセプトは地産地消だ。相模湾で揚がった魚や湘南野菜など、湘南平から見える範囲でとれた食材で料理を提供しようと、市内で料理店を20年近く経営する相原伸美さん(64)が提案し、市の公募で採用された。



江の島や三浦半島を見渡せる湘南平の展望台。いずれも平塚市万田



⑤ベーコンを添えたホットケーキと、テイクアウト用のカップ詰めを手にする「湘南リトルツリー」の大矢野範義、亜裕美さん夫妻 ④「湘南リトルツリー」の周りで、のぼりがはためいていた



地元の魚、豚肉、野菜を使ったおすすめの料理を持つFlatの相原未沙店長

地魚のフライや豚肉料理、サラダなどを盛り込んだ。

訪れる人を魅了するのは、山頂からの眺め。夜景や日の出がインスタ映えすると評判だ。その美しい風景に加え、個性的な食を提供する「湘南リトルツリー」と「Flat」の存在が、人気を後押ししていると市の担当者はみている。(遠藤雄二)

「湘南リトルツリー」は平塚市万田790-24、電話0463・34・7041。午前11時～午後4時、月・木曜休▽「Flat」は同万田790、電話0463・67・9887。午前9時45分(土日祝日は11時)～午後5時。水曜・第3火曜休。